

リスクコミュニケーションへの取り組みを広げるための方策事例



株式会社 クレハ における  
リスクコミュニケーションの取り組みについて

# 第1回～第3回 ＝レスポンスブル・ケア（RC）地域対話集会から＝

株式会社 クレハ いわき工場  
総務部長 須能則和

1

株式会社 クレハ  
KUREHA CORPORATION  
(2005.10.1)

呉羽化学工業株式会社より社名変更

**企業理念**

私たち(クレハ)は、  
人と自然を大切にします。  
常に変革を行い成長し続けます。  
価値ある商品を創出して、社会の発展に貢献します。

2

# 株式会社 クレハ いわき工場



- 1) 工場敷地面積：  
112万㎡
- 2) 従業員数：  
総合研究所などを  
含み約1,000人
- 3) 工場製造品目：  
百数十品目

3

## 株式会社 クレハ における リスクコミュニケーションの 取り組みについて

－レスポンシブル・ケア(RC)地域説明会の実施－  
＝2003年度＝

1. 実施の背景
2. 実施内容
3. 実施後のアンケート結果(ダイジェスト)
4. 全体まとめと今後の展開

4

## 「RC地域説明会」実施の背景

1. クレハグループは平成7年にRCの実施を社会に宣言。
2. 以来、保安防災・環境保全・労働安全衛生および製品安全・品質保証などの課題に、自主的・積極的に取り組んで来ました。
3. いわき工場においても昭和19年の創業から地域社会との共生をテーマに開かれた工場を目指しており、RCについても工場の総力を上げて取り組んで来ました。
4. そうした取り組みの延長として、これまでのRCへの取組み内容やその実績を工場周辺にお住まいの皆様へご理解いただくことが必要と考えました。
5. こうした考えから、「第1回RC地域説明会」の開催を企画。

5

## RC活動地域説明会 11月11日開催

### レスポンスブル・ケア (RC) 活動 地域説明会 次第

1. 開会の挨拶	13:00 ~ 13:05	総務部長	須能 則和
2. 錦工場長挨拶	13:05 ~ 13:10	工場長	富澤 藤利
3. RC活動について	13:10 ~ 13:26	日本レスポンスブル・ケア協議会 事務局 部長	小高 弘光 様
4. 説明			
ビデオによる工場紹介	13:28 ~ 13:46	総務部長	須能 則和
RC活動の報告・	13:50 ~ 14:00	環境安全品質部長	武藤 成明
RC活動の報告・	14:00 ~ 14:15	総務部長	須能 則和
RC活動の報告・	14:17 ~ 14:42	環境安全部長	石原 孝夫
5. 休憩	14:42 ~ 14:55 (13分間)		
質問項目受付 (質問用紙回収)			
6. 質疑	14:56 ~		
7. ご招待者から	15:20 ~	いわき市議会「鮫川クラブ」会長 勿来地区行政囀託員連合会会長 中田区長 いわき市役所勿来支所長 福島県生活環境部環境保全領域 大気環境グループ 参事	阿部 廣 様 中根 理 様 長久保 弘 様 鈴木 榮一 様 樽井 俊二 様
8. 工場長謝辞	15:45 ~	工場長	富澤 藤利
9. 開会の挨拶	15:50 ~	総務部長	須能 則和

6



出席者: 89名

地区役員など(周辺10地区の三役・他)・・・28名

諸団体(蛭田川周辺環境整備委員会・防犯協会・道の駅推進協議会・地域環境懇話会など)・・・11名

近隣県立高等学校 理科研究会の顧問・生徒・・・5名

行政機関など(県生活環境部・いわき労働基準監督署・勿来支所・警察署・消防署・マスコミ関係など)・・・15名

近隣の企業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25名

## 保安防災に対する取り組み



錦工場は危険物、高圧ガスを取り扱う工場です。保安防災は最も大切な責務であり、地域住民の方々の信頼に応えていきます。

主な保安訓練

- ・総合防災訓練
- ・通報連絡訓練
- ・職場毎訓練

常備防災要員

年間60時間以上の  
防災訓練/教育を実施

2003年出初式



# 錦工場環境負荷の全体像



SOx: 153t

NOx: 1,131t

煤塵: 36t

大気排出

製品

水域排出

水量: 17,253千m<sup>3</sup>

COD: 123t

BOD: 71t

錦工場

廃棄物(埋立)

2,152t

PRTR対象物質移動量

1,008t(焼却)

水

20,943千m<sup>3</sup>

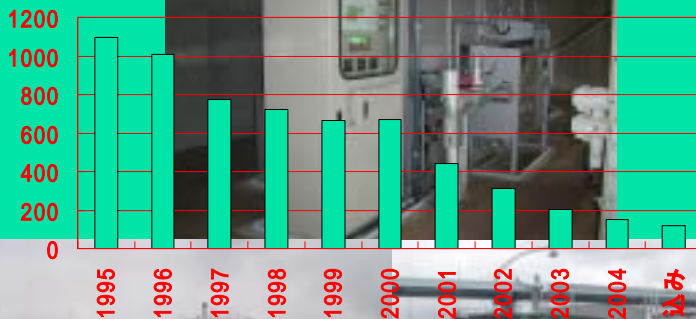
原材料

エネルギー

原油換算170千KL

9

# PRTR法対象物質の排出削減



PRTR法対象物質排出量 (ト/年)

有害性が高いと言われる物質を優先に、排出量削減努力を続けています。

10

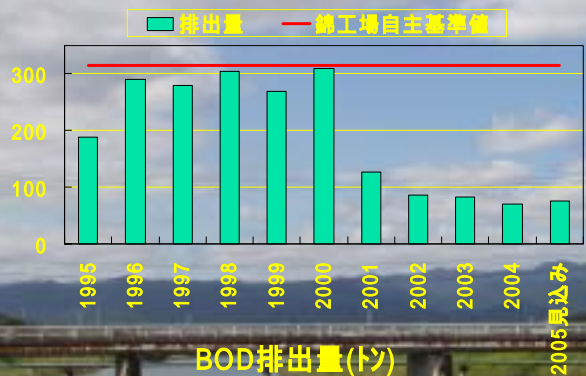
# 水質汚濁防止 - 1 ～ 排水処理設備 ～

2001年、より浄化能力の高い工場排水処理設備に更新しました。



自然(微生物)の力を借りて、工場排水をきれいにしています。

# 水質汚濁防止 - 2 ～ BOD(生物化学的酸素要求量) ～



水質汚濁の指標の1つであるBODを大幅に削減しました。

引き続き更なる改善に努めます。

## 2004年度 RC地域対話集会

1. RC活動について
2. 昨年度第一回説明会内容から
3. 錦工場RC活動-1
  - ・化学物質の排出削減について
  - ・臭気抑制対策について
  - ・保安防災訓練の取組みについて
4. 錦工場RC活動-2
  - ・地域社会とのコミュニケーション
  - ・環境保全商品の開発について

13

## 1.化学物質の排出削減について

### 1-1 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)の 対象化学物質の排出削減

#### 対策

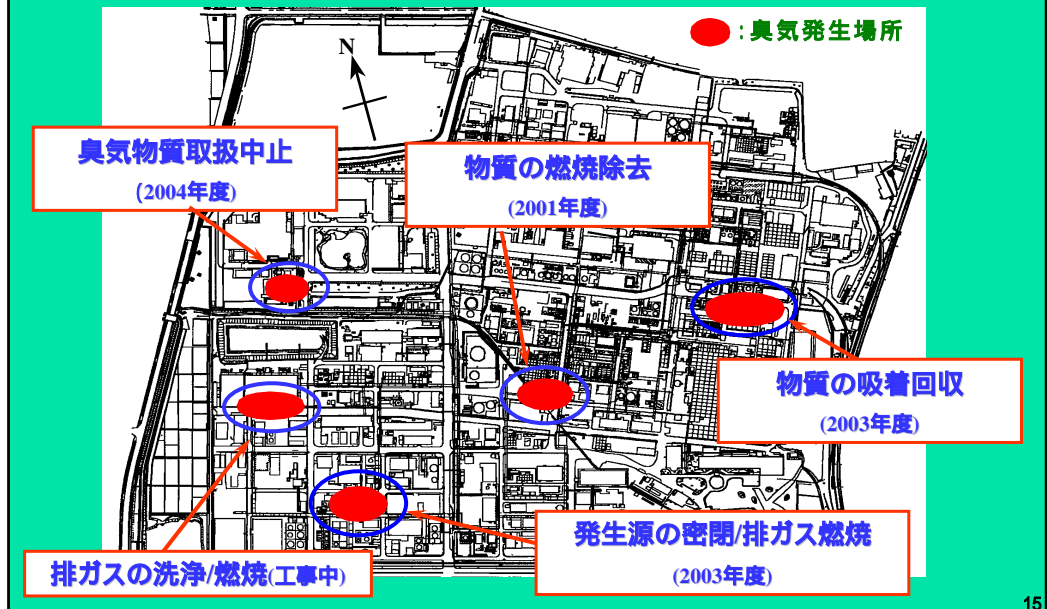
- 対象化学物質の使用中止
- 活性炭を使った回収
- ガスを圧縮/冷却しての回収
- 燃焼による排出抑制 等



燃焼による排出抑制設備

14

## 2.臭気発生源と対策状況



15

1. レスポンシブル・ケア<sub>(RC)</sub>活動について
2. 昨年度第二回対話集会のアンケート結果および質疑から
3. いわき工場のRC活動 排水管理
4. 呉羽環境株の環境保全への取り組み
5. (株)クレハエンジニアリングの環境商品開発への取り組み

16

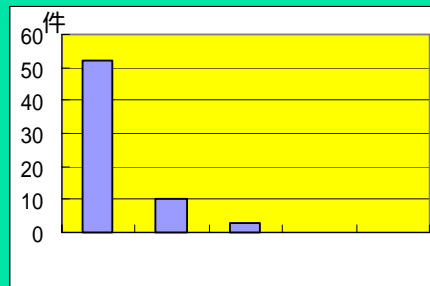


## 第二回RC活動地域対話集会 アンケート結果および質疑から

配布総数: 81枚  
アンケート回収総数 = 66、回収率 = 81.5%

### 設問-1: 説明内容はどうでしたか。

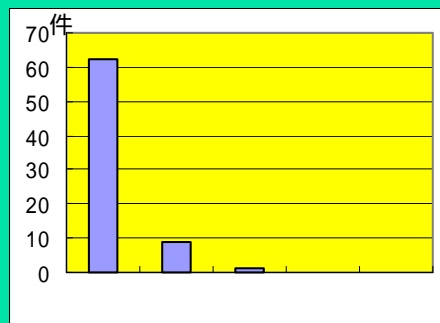
- 判りやすい説明であった。  
52件(80%)
- 一部分を除き判りやすい説明であった。  
10件(15%)
- 専門的でなくもっと判りやすい説明がほしかった。  
3件(5%)
- 難しかった。  
0件
- その他  
0件



17

### 設問-2: 具体的な対策をご報告させていただきましたが、いかがだったでしょうか。

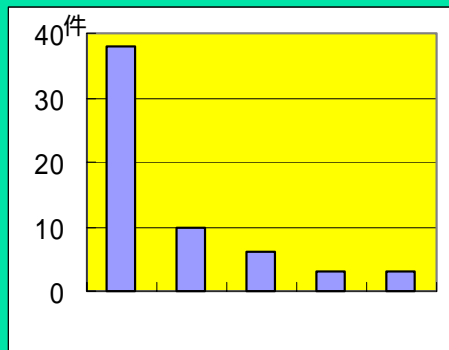
- 会社のRCに取り組む姿勢が感じられて大変良かった。  
62件(86%)
- 地域の声 that 反映されていると感じた。  
9件(13%)
- 時間をかけて説明してほしかった。  
1件(1%)
- 専門的でよく理解できなかった。  
0件
- その他  
0件



18

設問-3：第1回開催の「地域説明会」から「地域対話集会」と名称変更し、昨年度のアンケート内容を反映しながら開催しましたがいかがでしたか。

- 大変良かった。
- 38件(63%)
- 前回と比較すると対話の形が出来ていた。
- 10件(17%)
- 双方向での理解ができるよう判りやすい説明にしてほしい。
- 6件(10%)
- 変わりなかった。
- 3件(5%)
- その他
- 3件(5%) (初めての参加)



19

今後オールクレハとしてRCをどう考えていくのか次回で説明してほしい。

- ・・・オールクレハでのRC活動推
- ・・・地域との共生をさらに推進
- ・・・RC対話集会もグループで実施
- 特に地域密着の各社を対象
- 今回は 呉羽環境(株)
- (株)クレハエンジニアリングが発表

呉羽環境(株)の排ガス処理対策等の説明をお願いできませんか。

今後とも地区と企業が共存共栄をはかるとともに、コミュニケーションをさらに進めてほしい。

20



## リスクコミュニケーション

関係者相互のコミュニケーションによる理解と信頼の向上  
地域・行政・事業者による安心づくり

これは、

企業の社会的責任  
企業と地域社会との共生の考え方

3度実施して信頼感の高まりと、  
より率直な話し合いが一層できている。